

第3回 北海道水道広域化推進プラン策定に関する検討会 開催概要

日 時 令和2年6月4日（木）10時から11時30分

開催場所 道庁本庁舎5階 第4研修室

出席者（敬称略）

【構成員】

宇野 二郎	座 長	横浜市立大学国際総合科学群教授
構口 学	構成員	木古内町建設水道課長
谷川 竜也	構成員	谷川竜也公認会計士事務所代表
松井 佳彦	構成員	北海道大学大学院工学研究院教授
最上屋 知弘	構成員	札幌市水道局総務部企画課長
横山 浩丈	構成員	中空知広域水道企業団企業局営業課長

【オブザーバー】

野宮 治夫	北海道市長会	参事
海藤 孝夫	総合政策部地域行政局行政連携課	主幹
安藤 直樹	総合政策部地域行政局行政連携課	連携係長

事務局（環境生活部環境局環境政策課水道広域化推進室）

山田環境局長、松田室長、山内主幹、早川主幹、鹿又主査、井上主査、宮木主任

議 題

- 1 水道事業者の現状分析と将来推計の結果について
- 2 ソフト連携シミュレーションについて
- 3 今後のスケジュール等について

議 事

1 開会

あいさつ 山田環境局長

2 議題

- (1) 水道事業者の現状分析と将来推計の結果について
資料1に基づき、事務局から説明

(2) ソフト連携シミュレーションについて

資料2に基づき、事務局から説明

ア シミュレーション単位に関する意見

- 共同化をしなければいけないという意識は共有されており、ある程度方向性を決めるためには細分化した方がいい。(構口構成員)
- 市町村数が多いので、地域特性(地形など)に応じた提示ができないか。(谷川構成員)
- 地域割の根拠を明確にし、複数パターン提示してはどうか。(最上屋構成員)
- 地域割は広域化プラン策定に向けて大きな意味を持つ。検討のため地域割を複数案提示できないか。(松井構成員)

イ シミュレーション内容について

- スマートメーターの導入、企業会計事務の広域化も検討すべき。(構口構成員)
- 簡易水道事業などの地方公営企業法適用を見据え、企業会計システム統合の検討(メリットとコスト)も必要。(谷川構成員)
- 企業会計事務の共同化を実地シミュレーションできないか。小さな町村などでは技術職員が苦勞しているような事例もあるのではないか。(横山構成員)
- 地域、事業者の課題を明確にし、その対応策としてのシミュレーションとすべき。(宇野座長)
- シミュレーションが難しい災害・事故、職員、事務関係の連携や、職員採用や研修などソフト面の取り組みは重要なので、広域化プランや事例集などで整理すべき。(宇野座長)
- 効果を費用と人工としているが、人材・業者不足への対応など、金額で換算できない効果を、定性的にでも把握できれば良い。(宇野座長)

ウ シミュレーション方法について

- 実地ケースでは具体的な積算や業者へのヒアリング、モデルケースでは地域条件・前提条件を明確にした試算と、両者の違いを明確にすべき。(宇野座長)
- 共同化に必要な費用の発生も明示すべき。マッピングや料金システムは共同化しただけではメリットが出ない。(最上屋構成員)
- 給水装置工事関係の設計審査など、行政処分を伴う業務については、広域化する際の枠組みも示すと良い。(最上屋構成員)
- モデルケースの方は、市町村にとって「他人事」にならないか懸念している。(横山構成員)
- モデルケースについては、どのようなケースに適応するのかを分かりやすくするために、地域特性などの条件を明確にすべき。(松井構成員)

エ その他

- 中心的な自治体のないところでは、広域化の「受け皿」を検討してはどうか。(宇野座長)
- 広域化には首長レベルの意思決定が重要。(構口構成員)

(3) 今後のスケジュールについて

資料3に基づき、事務局から説明

3 閉会